

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 1 区分

【発行日】平成30年8月16日(2018.8.16)

【公表番号】特表2017-501330(P2017-501330A)

【公表日】平成29年1月12日(2017.1.12)

【年通号数】公開・登録公報2017-002

【出願番号】特願2016-536738(P2016-536738)

【国際特許分類】

F 0 1 N 3/08 (2006.01)

B 0 1 D 53/94 (2006.01)

【F I】

F 0 1 N 3/08 B

B 0 1 D 53/94 2 2 2

B 0 1 D 53/94 4 0 0

【手続補正書】

【提出日】平成30年7月6日(2018.7.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

自動車システムの分解ユニット（2）を積載する若しくは再積載する方法であって、
前記分解ユニットはアンモニア前駆体を受け取るように構成されており、前記自動車システムは、

- 前記分解ユニットに連通する給油管（7）
を備え、

前記アンモニア前駆体を分解するように適用された少なくとも 1 つのタンパク質成分を含む少なくとも 1 つのカプセル（3）が、前記給油管を通じて導入され、次いで前記給油管を通じて前記分解ユニットに向かって案内される、方法。

【請求項 2】

前記自動車システムは、アンモニア前駆体の貯蔵のための容器（1）を備え、前記分解ユニットは、少なくとも部分的に前記容器の内側に、及び／又は前記アンモニア前駆体を含む前記容器の壁に、配置されていることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記給油管は、一部分（7 1、7 3）が前記容器の外側にあり、他の部分（7 2、7 4）が前記容器の内側にある状態で前記容器の壁に取り付けられており、前記容器の内側の前記給油管の部分は前記分解ユニットに接続されていることを特徴とする請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記容器の内側の前記給油管の部分は少なくとも 1 つの貫通孔（9）を備え、前記貫通孔は、アンモニア前駆体が前記容器の中を流れるのを可能にするようにサイズを決められ、前記カプセルのサイズは、前記貫通孔のサイズより大きいことを特徴とする請求項 3 に記載の方法。

【請求項 5】

アンモニア前駆体は、導入された前記カプセルを前記分解ユニットの中に押し込むように、前記給油管を通じて導入されることを特徴とする請求項 1～4 のいずれか一項に記載

の方法。

【請求項 6】

前記カプセルは 2 つの半体シェルから成り、前記半体シェルは、組み立てられる 2 つの別の部品として製造されることを特徴とする請求項 1 ～ 5 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 7】

前記シェルのうちの少なくとも一方は、前記タンパク質成分がその上に不動化される基板を保持／維持するように構成されたバッフル（302）を備えることを特徴とする請求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】

前記シェルのうちの少なくとも一方は少なくとも 1 つの開口部（303）を備え、該開口部（303）を通じて前記アンモニア前駆体が前記タンパク質成分と接触するように流れることができることを特徴とする請求項 6 又は 7 に記載の方法。

【請求項 9】

前記シェルのうちの少なくとも一方は、表面に形成された少なくとも 1 つの窪んだ凹部（304）及び／又は少なくとも 1 つの突出部を備えることを特徴とする請求項 6 ～ 8 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 10】

前記自動車システムが S C R システムであることを特徴とする請求項 1 ～ 9 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 11】

請求項 1 ～ 10 のいずれか一項に記載の方法を適用するための自動車システムであって、

- アンモニア前駆体を分解するための分解ユニット（2）であって、前記分解ユニットは、アンモニア前駆体を受け取るとともに、前記アンモニア前駆体を分解するように適用された少なくとも 1 つのタンパク質成分を含む少なくとも 1 つのカプセル（3）を受け取るように構成されている、分解ユニット（2）と、

- 前記分解ユニットと連通状態にある給油管（7）であって、前記給油管は、前記カプセルを受け取り、前記分解ユニットに向かって案内するように構成されている、給油管（7）と、

を備える、自動車システム。

【請求項 12】

アンモニア前駆体の貯蔵のための容器（1）を備え、前記分解ユニットが、少なくとも部分的に前記容器の内側に配置されている、及び／又は前記アンモニア前駆体を含む前記容器の壁に配置されていることを特徴とする請求項 11 に記載の自動車システム。

【請求項 13】

前記給油管は、一部分が前記容器の外側にあり、他の部分が前記容器の内側にある状態で前記容器の壁に取り付けられており、前記容器の内側の前記給油管の部分は前記分解ユニットに接続されていることを特徴とする請求項 12 に記載の自動車システム。

【請求項 14】

前記容器の内側の前記給油管の部分は少なくとも 1 つの貫通孔を備え、前記貫通孔は、前記アンモニア前駆体が前記容器の中を流れるのを可能にするようにサイズを決められ、前記カプセルのサイズは前記貫通孔のサイズより大きいことを特徴とする請求項 13 に記載の自動車システム。

【請求項 15】

前記自動車システムが S C R システムであることを特徴とする請求項 11 ～ 14 のいずれか一項に記載の自動車システム。

【請求項 16】

請求項 1 ～ 10 のいずれか一項に記載の方法における使用のためのカプセルであって、前記カプセルは 2 つの半体シェルから成り、前記半体シェルは、組み立てられる 2 つの別の部品として製造されるカプセル。

【請求項 17】

前記シェルのうちの少なくとも一方は、前記タンパク質成分がその上に不動化される基板を保持／維持するように構成されたバッフルを備えることを特徴とする請求項16に記載のカプセル。

【請求項 18】

前記シェルのうちの少なくとも一方は、それを通じて前記アンモニア前駆体が前記タンパク質成分と接触するように流れることができる少なくとも 1 つの開口部を備えることを特徴とする請求項16又は17に記載のカプセル。

【請求項 19】

前記シェルのうちの少なくとも一方は、表面に形成された少なくとも 1 つの窪んだ凹部及び／又は少なくとも 1 つの突出部を備えることを特徴とする請求項16～18のいずれか一項に記載のカプセル。